

みんなが健康で明るい職場と家庭が願い



生田神社 楼門と杉盛り

杉盛りは過去の災害の言い伝えから、門松の代わりに  
五穀豊穡と地域の繁栄を願う正月飾り

# 掲示板

兵庫県建築健康保険組合

2020年1月15日 No.192

TEL : 078-997-2311 FAX : 078-997-2328  
E-Mail : hyougokenkentu@mub.biglobe.ne.jp  
URL : <http://www.hyogo-kenchiku-kenpo.or.jp/>

## 新年のご挨拶

兵庫県建築健康保険組合

理事長 森 長 義



新年あけましておめでとうございます。

事業主、被保険者及びご家族の皆様におかれましては、お健やかに  
新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、当健康保険組合の事業運営につきましては、日頃より格別  
のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年は、日本各地において、台風、豪雨等による大きな自然災害が発生した年であり、被災された皆様  
には心よりお見舞いを申し上げます。

わが国の国民皆保険制度は、半世紀を超えて受け継がれ、国民の健康増進と長寿社会の実現に大きく貢  
献してきました。一方で、急速な高齢化や医療の高度化等により医療費は増加の一途をたどり、また支  
手の現役世代の減少とともに、財政的に制度の存続が危ぶまれる状況に陥っています。特に、団塊の世  
代が75歳に到達しはじめる2022年以降、制度全体の財政悪化が更に急速に進むと見込まれています。

健康保険組合全体（1391組合）の財政状況は、健康保険組合連合会の集計による2018年度決算見込に  
よると、経常収支は黒字決算となったものの、赤字組合数は423組合で依然として全組合の3割を超  
えており、健保組合の財政は厳しい状況にあります。協会けんぽの平均保険料率（10.0%）以上の組合は、312  
組合で、全組合の2割弱となっています。高齢者医療への拠出金額は3兆4537億円で、義務的経費（法  
定給付費と高齢者医療への拠出金）に占める拠出金負担割合は46.36%となり、依然として高水準で推  
移しています。被保険者1人あたりの保険料収入額は49万3854円で、これを高齢者医療制度が創設さ  
れる前の2007年度（38万3612円）と比較すると、11年間で11万242円も負担が増加したことになります。

今政府は全世代型社会保障検討会議において議論を進めていますが、国民皆保険制度を堅持するた  
めには、高齢者医療費の負担構造改革を中心とした医療保険制度の改革が必要となっています。

「第3期特定健診・特定保健指導実施計画（平成30年度～令和4年度）」及び「第2期データヘルス計  
画（平成30年度～令和4年度）」は、被保険者及び被扶養者が疾病予防・健康づくりに積極的に取り組  
んでいくことができる環境を醸成することにより、医療費の適正化を図る事業の計画です。

令和2年度は、その事業を推進するために、健康保険組合の自主自立の保険者機能の優位性を活かし、

従来の保健事業に加えて、自身と家族の健康習慣の気づきにつながるよう、「新たな保健事業」を充実させていきたいと思っております。実施にあたり、健康保険組合と事業所とが一体で取り組むことが重要ですので、引き続き、事業主皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びになりますが、加入事業所の益々のご繁栄と、事業主、被保険者及びご家族の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



兵庫県建築健康保険組合

組合会議員一同

役職員一同

## ● 健康保険料に係る延滞金の割合の特例について（お知らせ）

令和2年1月1日以降の延滞金の割合について、納期限の翌日から三月を経過する日までの期間については年2.6パーセントとし、納期限の翌日から三月を経過する日の翌日以後については年8.9パーセントとなります。

なお、この割合は前年と変更はありません。

## ● 健康保険被保険者賞与支払届の提出はお済みですか。

健康保険被保険者賞与支払届の提出について、令和元年11月15日付けでお願いしたところです。

まだ提出していただけていない場合は、すみやかに提出していただきますようお願いいたします。

なお、賞与の支払いがなかった場合は、「賞与支払届総括表」のみ作成のうえ、令和2年1月末日までに当健康保険組合にご提出願ひます。

## ● 健康ウォーキング運動で、54名の方が目標歩数を達成されました。

令和元年度第2回健康ウォーキング運動（令和元年9月1日～令和元年11月30日）において、54名の方が、3か月で目標歩数を達成されました（50万歩達成者34名 100万歩達成者20名）。達成された方には、事業主様を経由して、達成記念品を贈呈させていただきます。

なお、記念品は、令和2年1月15日発送予定で、業者（ニチエイライフ株式会社）から該当事業主様に送付させていただきます。

● 「お知らせ文書」等を同封しましたので、よろしくお願ひします。

- 1 NEW 保健事業 「生活習慣改善セミナー」開催案内のお知らせ  
(姫路・洲本会場の該当地区事業所に送付します)
- 2 NEW 保健事業 「薬との上手な付き合い方」をご案内します  
(薬剤の多種・多量服薬者を対象に、被保険者の自宅に郵送します)

● ホームページの新着情報

当健康保険組合のホームページの新着情報をご案内します。

- 令和2年1月15日
  - ・ NEW 保健事業 「生活習慣改善セミナー」開催日程のお知らせ (姫路 2/11)
  - ・ NEW 保健事業 「生活習慣改善セミナー」開催日程のお知らせ (洲本 2/22)

● 行事予定

- 第204回財政対策委員会
  - ・ 日時 令和2年2月5日(水) 正午～
  - ・ 場所 兵庫建設会館 3階 301号会議室
- 第15回健康管理事業推進委員会
  - ・ 日時 令和2年2月14日(金) 正午～
  - ・ 場所 兵庫建設会館 3階 301号会議室
- 第121回予算組合会
  - ・ 日時 令和2年2月21日(金) 正午～
  - ・ 場所 兵庫建設会館 2階 201～203号会議室

● 事業状況

区 分		令和元年12月分 (A)	平成30年12月分 (B)	(A) ÷ (B) × 100 (%)
事業所数(件)		172	172	100.00
被保険者数(人)	男	3,370	3,383	99.62
	女	637	638	99.84
	計①	4,007	4,021	99.65
平均標準報酬月額(円)	男	396,568	392,974	100.91
	女	252,578	247,514	102.05
	計	373,678	369,894	101.02
標準賞与額総計(累計・千円)		3,686,643	3,521,706	104.68
被保険者1人当たり標準賞与額(累計・円)		920,051	875,828	105.05
被扶養者数(人)	②	3,927	4,137	94.92
扶養率(人)	②÷①	0.98	1.03	95.15

# 令和元年度 健康保険組合全国大会開催

## 迫る2022年危機！

## 今こそ改革断行を！

令和元年十一月二十二日、東京国際フォーラムで令和元年度健康保険組合全国大会が、全国1400健康保険組合の関係者ら4100名と来賓の国会議員56名が出席して開催された。



「2022年危機」とは、2022年には段階の世代が後期高齢者になり始めることから高齢者医療費が急増します。

一方で制度を支える現役世代が減少し、現役世代に過重な負担がかかる状況になります。

このため健保連は、2022年以降は健康保険の財政が急激に悪化し、国民皆保険制度が危機的状況になると指摘しています。

### 決 議

世界に類のない優れた制度と評価される我が国の皆保険制度は、半世紀を超えて受け継がれ、国民の健康増進と長寿社会の実現に大きく貢献してきた。一方で、急速な高齢化や医療の高度化等により医療費は増加の一途をたどり、また支え手の現役世代の減少とともに、財政的に制度の存続が危ぶまれる状況に陥っている。特に、団塊の世代が75歳に到達しはじめる2022年以降、高齢者医療費の増加に伴い制度全体の財政悪化が更に急速に進むと見込まれる。今のまま放置すれば、皆保険制度を支えてきた健康保険組合は更なる負担増に耐え切れず解散を余儀なくされ、支え手を失い皆保険が極めて危機的状況に陥ることは明白である。

この窮状を乗り越え、現役世代を守り、皆保険制度を将来世代へつなぐためには、「高齢者医療費の負担構造改革」を中心とした医療保険制度の抜本的な改革が不可欠である。

現役世代に過度に依存することなく、公平な負担による「全世代型社会保障制度」を目指すべく、まずは高齢者の患者負担を75歳到達者から順次原則2割とし、高齢者にも応分の負担を求めるとともに、後期高齢者の現役並み所得者への公費5割投入、拠出金負担割合に50%の上限を設定し上限を超える部分は国庫負担とする一など、現役世代の拠出金負担に一定の歯止めをかけるべきである。

また、制度の持続性を確保するためには、あらゆる方策を通じて医療費全体の伸びを抑制することが欠かせない。具体的には、個人が負担しきれない大きなリスクの保障を重視しつつ、「保険給付範囲の見直し」や「薬剤処方適正化」を行うなど、医療費適正化対策を果敢かつ着実に実行すべきである。同時に、我々健康保険組合をはじめ保険者も加入者一人ひとりが適切な受診行動を心掛け、医療費を大切に使う意識を持つよう啓発活動に一層取り組んでいかなければならない。

健康保険組合は、これまで労使と一体となって加入者の実態に沿ったきめ細やかな保健事業を効果的に展開し、健康づくり・疾病予防等に取り組んできた。「人生100年時代」といわれる今、加入者の健康増進を通じて、健康寿命の延伸につながり健康な高齢者が元気に働き続ける「支える側」を増やす取り組みにも貢献できる健康保険組合の役割はより一層高まっている。

これからも我々は保険者の先頭に立ち、国民の安心と健康の基盤である皆保険制度を中核となって支え続けていく決意である。

目前に迫る“2022年危機”を乗り越えるため、改革の断行を求め、我々健康保険組合は次の事項について組織の総意をもってここに決議する。

- 一、皆保険の維持に向けて、まずは高齢者の原則2割負担の実現
- 一、必要な公費の拡充。現役世代の負担増に歯止め
- 一、保険給付範囲の見直しによる医療費の適正化
- 一、人生100年時代。健康寿命延伸に資する保健事業の推進

令和元年11月22日

令和元年度健康保険組合全国大会

医療保険制度の持続可能性を確保するために、サブタイトルとして「現役世代を守りたい！国民皆保険を支えるために！」を掲げ、四つの大会スローガンにもとづく決議を参加した4100人の総意として採択した。

大塚会長は基調演説で「2022年以降、段階の世代が75歳に到達し始め、高齢者医療費が増加し、制度全体の財政悪化が急速に進む」と危機感を表明。国民皆保険制度を将来にわたって持続させるためには、「今こそ、全世代で支えあう医療保険制度改革が不可欠だ」と訴えた上で、「今が2022年危機を迎える前の、改革のラストチャンス」と強調した。

第 120 回 (2020 年 1 月 15 日)

マイ・ライフ  
~わたしとけんこう~

「私の健康づくり」

株式会社 山本設計  
代表取締役 山本 康一郎

10 月に誕生日を迎え 66 歳になりました。65 年間、怪我、大病もなく健康に過ごせたことを両親や妻に感謝をしたいと思います。人生の後半戦も健康に留意し、大過なく過ごせたらと思っています。

さて、自慢できるような健康法は特段行っていません。外での食事も多くアルコールも付き合い以上にたしなみます。よって、BMI 値は 24 と徐々に高くなってきております。

自身の健康管理を思い起こすと、20 歳代は登山を始め野球や卓球などのスポーツを行う健康的な生活でした。30 歳代半ばからは暴飲暴食の生活が始まり 20 歳代の筋肉は脂肪に変わり、健康診断でもイエローカードをもらうようになりました。

これはまずいと思い 40 歳を越えたあたりから続けているのが、スポーツジムに週 1 回程度通うのと早朝ウォーキングです。ウォーキングは自宅近くの神戸大学のキャンパスを平日で 40 分程度、休日は 1 時間程度のウォーキングを行います。季節によっては日の出を拝み、春は桜を愛で、秋は紅葉を楽しみ、また、鳥のさえずりや草木の変化による季節の移り変わりを感じながらウォーキングを行っています。たまには、自宅から長峰山、摩耶天上寺、摩耶山と登り神戸高校周辺に降りてきます。所要時間は 4~5 時間程度ですが結構きついものがあります。体重減少にはつながっていませんが、何とか体形をキープ出来たらと思い継続しています。

50 代半ばからは、友人達と 3000 メートル級の夏山登山を復活しており、昨年までに百名山のうち九名山に登りました。山登りは、40 年前と違い体力の衰えはいかんともしがたく、毎年毎年、苦難苦行の連続です。しかし、山頂からの雄大な景色を心ゆきなく眺め、喜びにひたるのが目的であり、頂上を目指し、安全第一で登っています。特に、北アルプスの山々が好きで何度も登った穂高や槍ヶ岳が見えると疲れも忘れ、いつまでも眺めています。

また、山での数日間は早寝早起きで登山をします。そして、行動中はほとぼしる汗によって体重減少となり健康的な日々を送ることが出来ます。しかし、無事に下山すると、まずはビールで乾杯、車中での宴会、戻れば反省会と半日で元通りの体重に戻ります。

昨今の健康ブームにより六甲山を始め北アルプスでも老若男女を問わず沢山の方が登山を楽しんでおられます。私も健康管理に気を付け、体力を維持し、先輩諸兄に負けぬよう山登りを続けたいと思っています。